



設計主旨

みまもり ～縁で繋がる一人一人に希望の光を～

昨今の児童に関する問題を知っているでしょうか。経済的に生活や学習が困難な児童や心理的身体的な児童虐待など、相談対応件数が年間で20万件になっている。日本は経済的に豊かな国として認識されているが、日本の子どもの貧困率は決して低くはない。子どもの貧困率は改善傾向にあるが、依然として7人に1人が貧困状態にある。そこで、一人でも多くの子どもが安心して自分らしく生きられるよう、子どもたちの今と未来をより明るいものとするための居場所があればいいなと思い、児童養護施設と職業訓練校の複合施設を考えた。在所中から訓練校を利用することで、子どもたちが職業訓練校で専門性の高い知識・技術を身に付けられるほか、金銭的な援助や就職支援を受けることができる。施設を退所した後、身につけた技術で就職先の選択肢が少しでも広がり、即戦力として活躍してほしいという思いから、児童養護・職業訓練複合施設「みまもり」を設計した。

児童養護施設には、談話室をそれぞれの階に設け、広々とした空間にし、アリーナを設けることで、グラウンドとは別に雨の日でも室内で運動ができ、講習会やイベント時にも使えるようにした。

職業訓練校は、調理科、プログラミング科、建築科の3つの科がある。3年で免許や資格を取得し、社会で活躍できる人材の育成をする。

施設は調理室と併設されたカフェとデッキスペース、多くの人が利用できるPC室を設けた。各階の南側にはテラスを設置し、気分転換やコミュニケーションがとれる場など、開放感あふれる施設となっている。

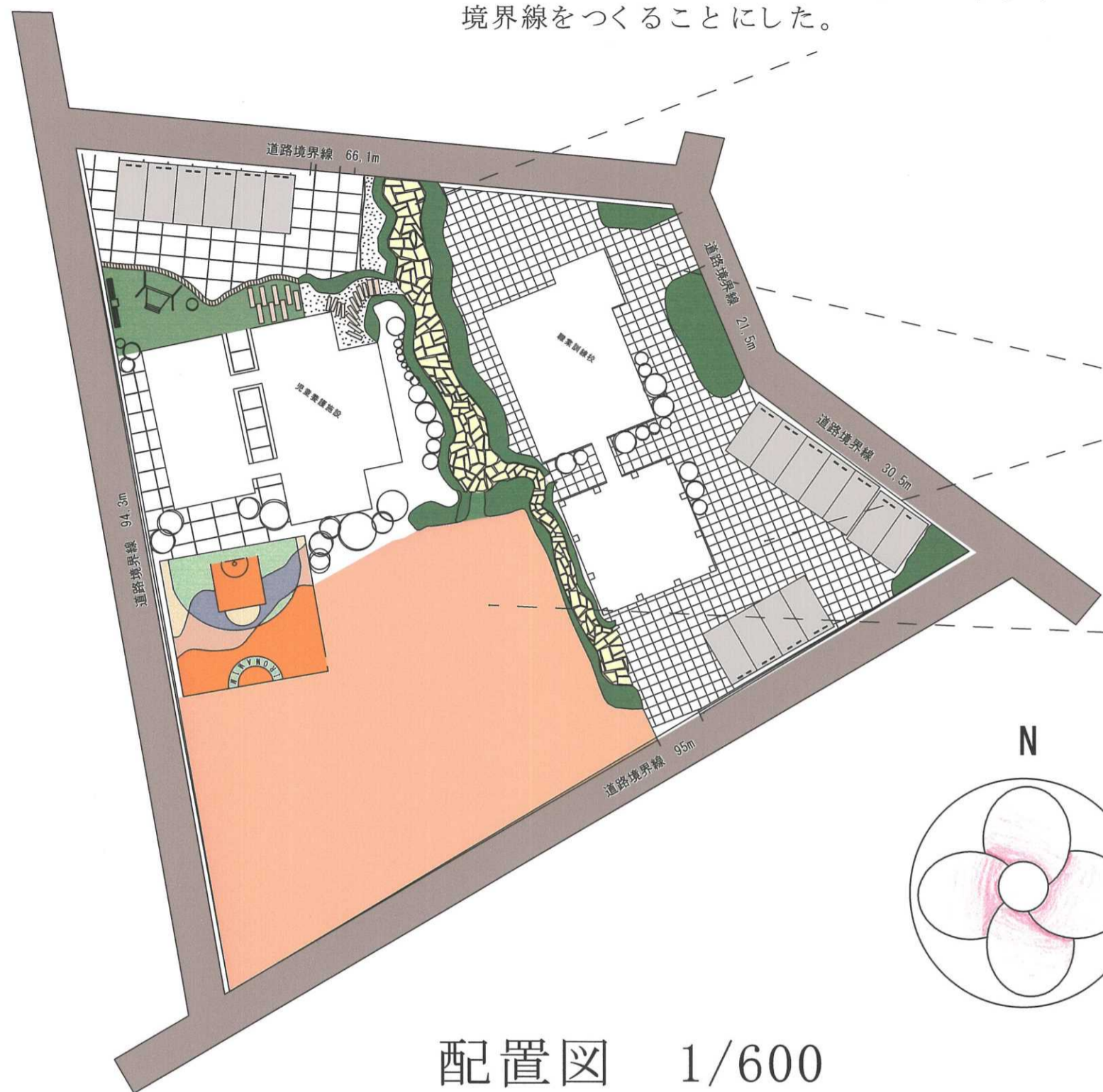
家庭環境を理由に十分な食事や教育を受けることができない子ども達が多く存在している現在に、この児童養護・職業訓練複合施設「みまもり」が、『当たり前暮らし』の実現を可能にしていけたらいいと思う。そして、誰もが将来の夢や希望を持って生きていってほしいと願っている。



貧困の子どもへの影響



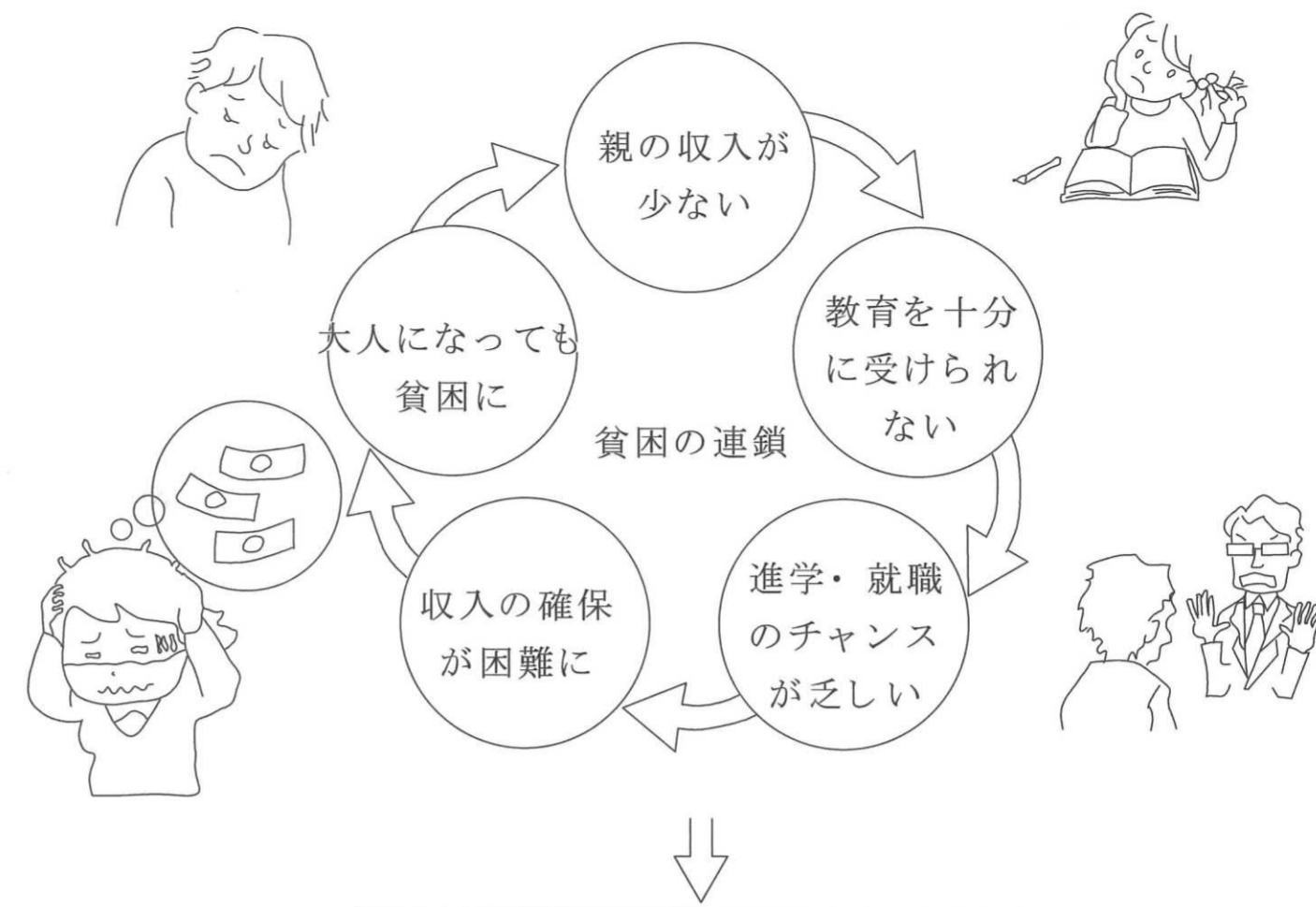
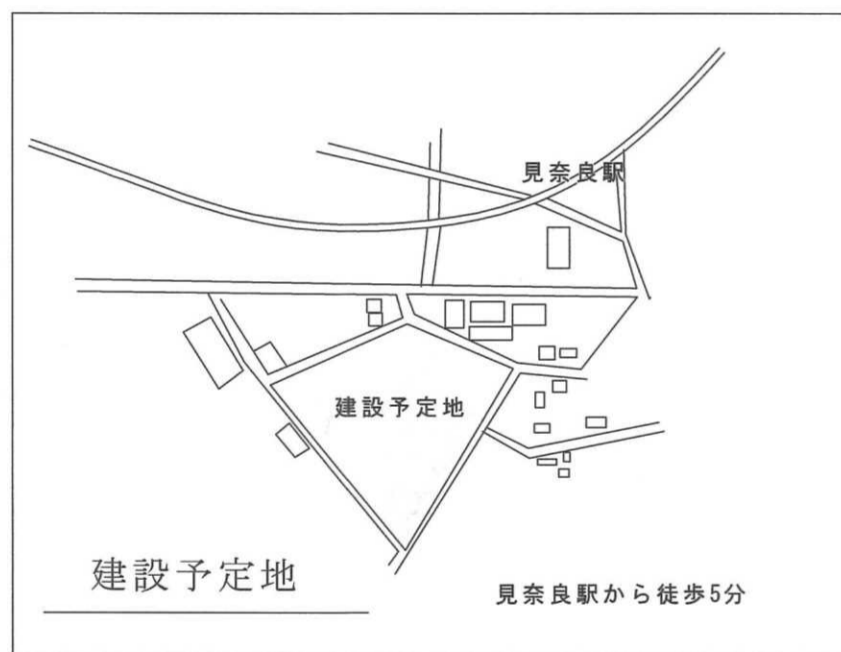
緑の木々や草花には見ることによって、無意識にストレスや緊張を軽減する効果がある。そこで、建物と建物の境界線としてブロックなどを用いらず、木々など緑で境界線をつくることにした。



配置図 1/600

駐車場スペースと歩行者が出入りする場所を分けることにより安全が確保されるようにした。

誰でも利用することが可能な屋外スペースを設置した。サッカーの体験や野球などの球技の体験などスポーツ教室がひらかれる場所としても利用可能とし、さまざまなスポーツを経験してもらいたい。



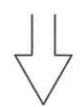
- さまざまな対策
- ・親への支援
 - ・学習支援
 - ・居場所づくり
 - ・奨学金

ネグレスト…食事を与えない、ひどく不潔なままにする、学校に行かせないなどの養育の拒否や、子どもの放置、家族や第三者からの虐待を見過ごすこと

心理的虐待…言葉で脅す、きょうだい間で差別的扱いをする、精神的苦痛をあたえること

『貧困をなくそう』できること

- ①貧困について理解を深める
- ②継続的な支援と自立に向けた支援
- ③私たちにできることを知る



支援団体を知り、寄付する
フェアトレード商品を購入



フェアトレードとは、発展途上国の生産者の生活を支えるために、現地で作られた農作物を適正な価格で取引する貿易の形です

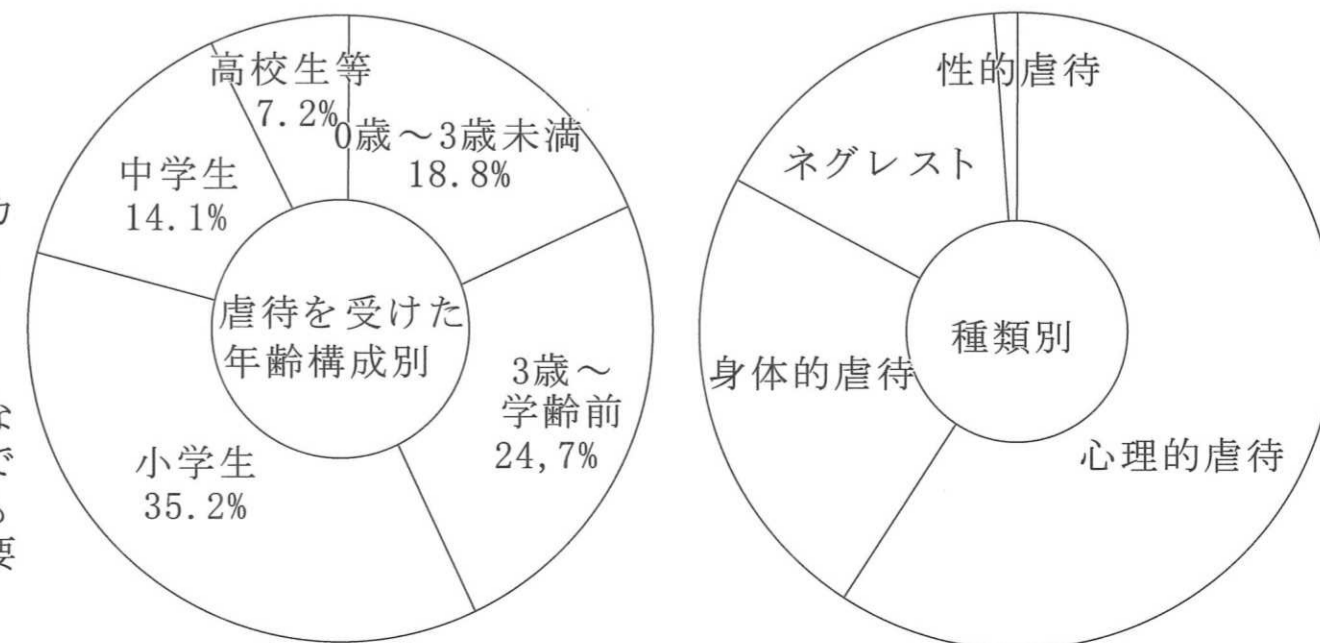
小さな命を守りたい

- ・選挙で子育て支援や児童福祉に力を入れている人に票を入れる。
- ・困っている子連れを助ける
子育て中の親子に、やさしいまなざしを。

階段で困っている親子を見かけたらベビーカーの持ち運びを手伝ったり、些細な行動が、子育て中の親子の心の支えになる。

家族間のストレス、住居や経済的な問題、などが虐待の引き金になる。子育てをする中で生じる不安や寂しさ。虐待をする親と子どもには、周囲の温かい支えと適切な支援が必要だと思う。

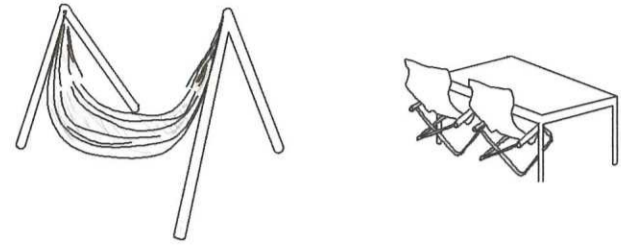
虐待について



1 貧困をなくそう

芝生スペース

秘密基地的な空間をもち、ハンモックや、外でも飲食ができるよう机、いすを置き、くつろぎやすいように地面は芝生とした。



談話室

子どもが自由に使えるコミュニケーションスペースを設置することで年齢や性別を超えた新しい交流が生まれる。

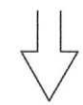
自室だけでなく談話室があることにより気分転換ができる場所となればよいと思う。



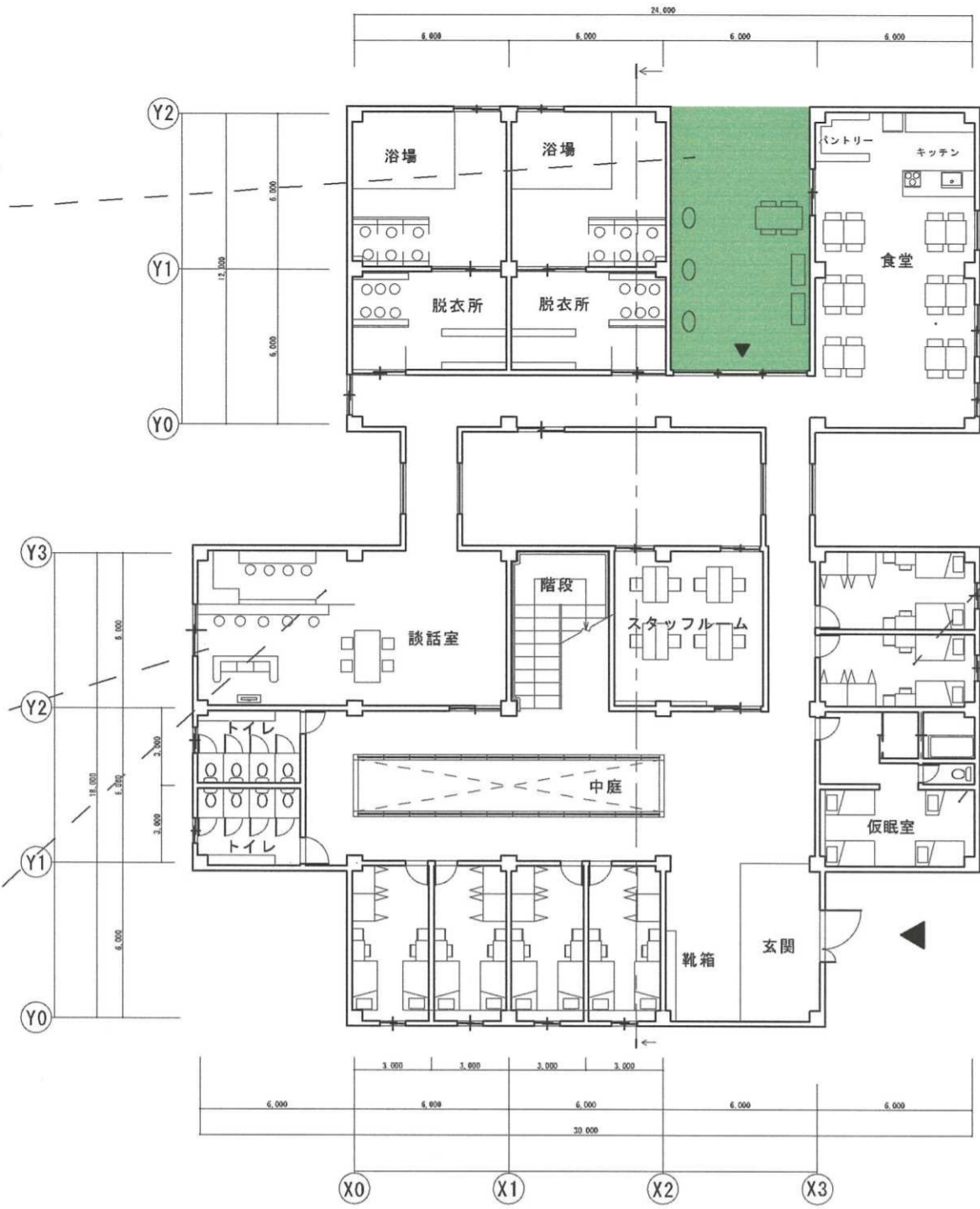
アリーナ

広々とした室内空間とし、天井には出窓を設置することにより自然の採光を取り込むことができる。より明るい室内空間をつくることできる。

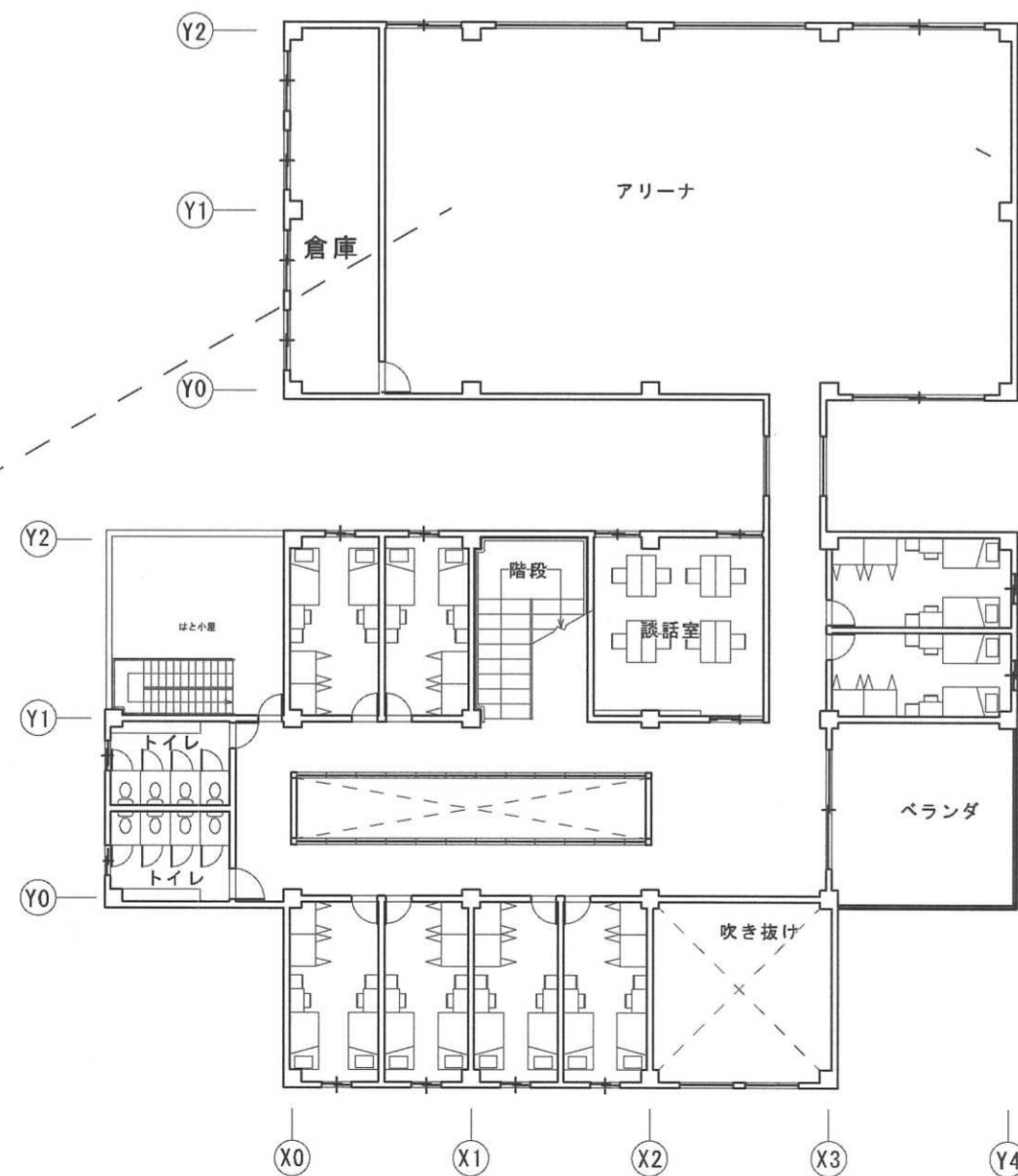
アリーナの活用法



- ・ 季節ごとにイベント開催する
- ・ 雨天時でも体を動かすことができる
- ・ 室内スポーツの活動
バスケットなど
- ・ 講習会
- ・ 職員の会議場所



1階平面図 1/250



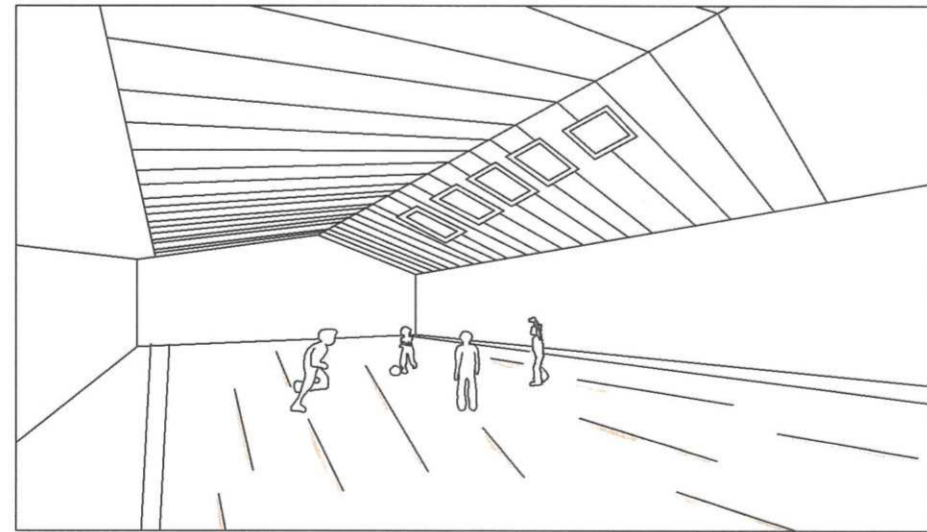
2階平面図 1/250

児童養護施設

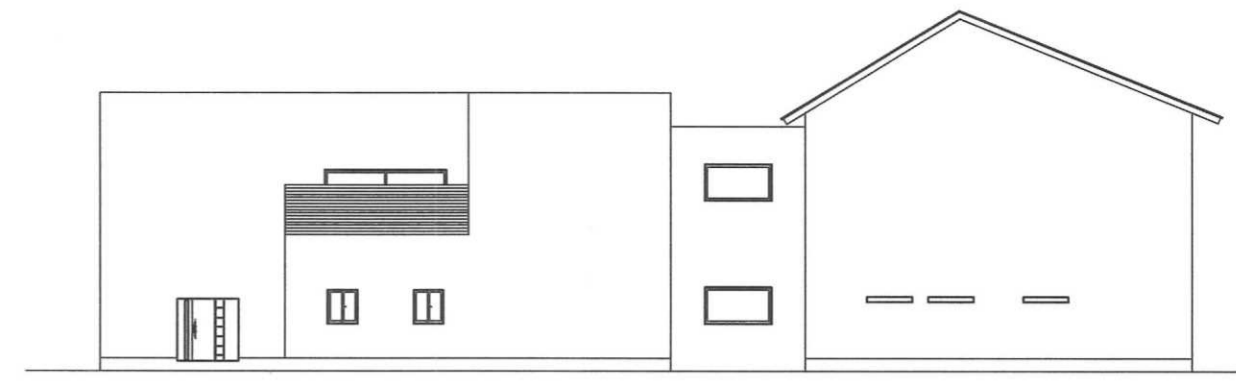
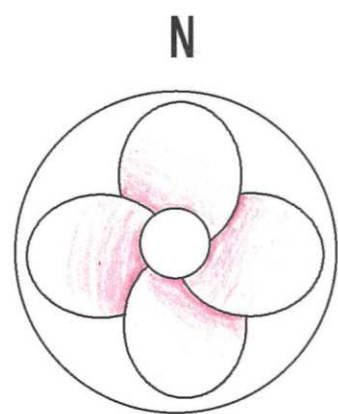
部屋

2人部屋で、年に1度部屋替え。1階と2階で男女を分ける→プライバシーはしっかり守られている環境

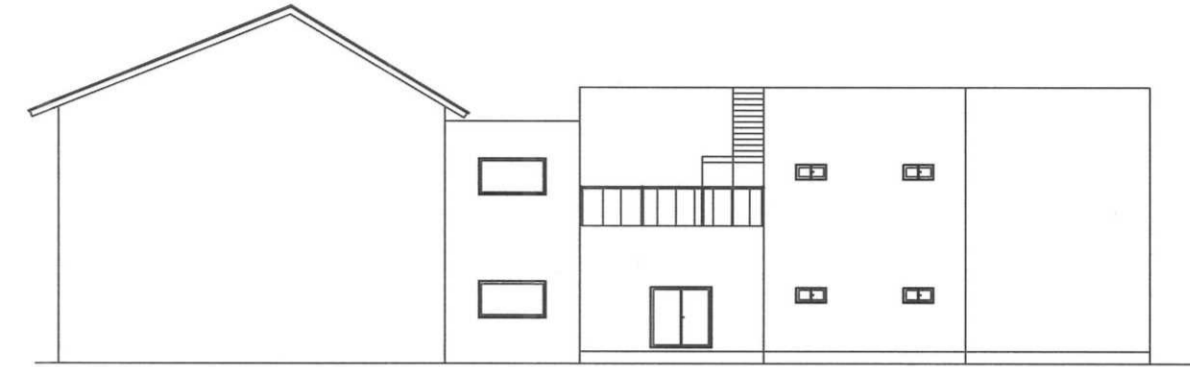
仮眠室を設け、夜間に勤務する人や少し仮眠するときに利用できるスペースを設けた。



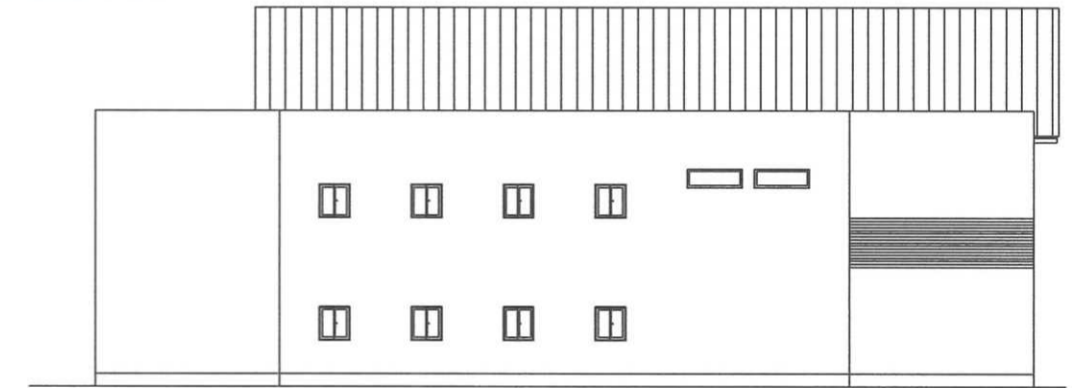
アリーナイメージ



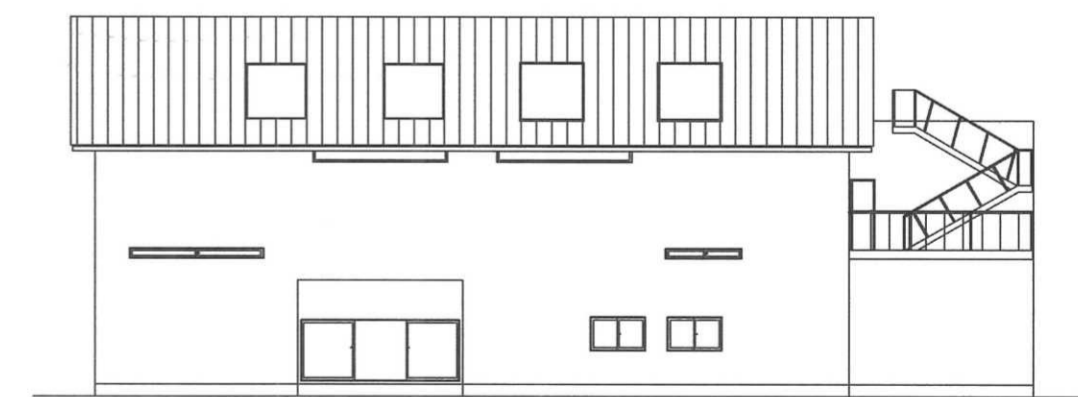
東立面図 1/250



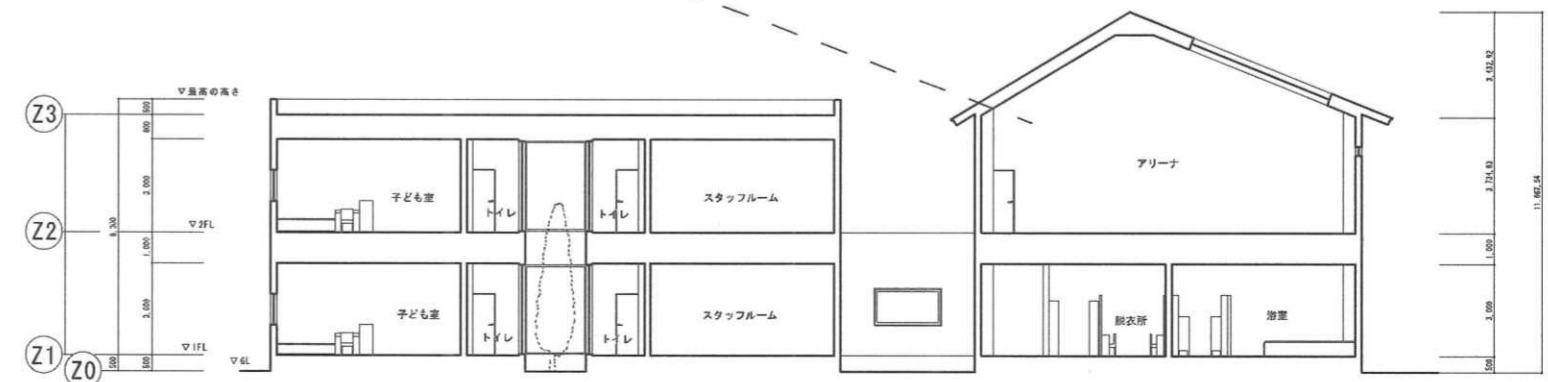
西立面図 1/250



南立面図 1/250



北立面図 1/250



A-A断面図 1/250

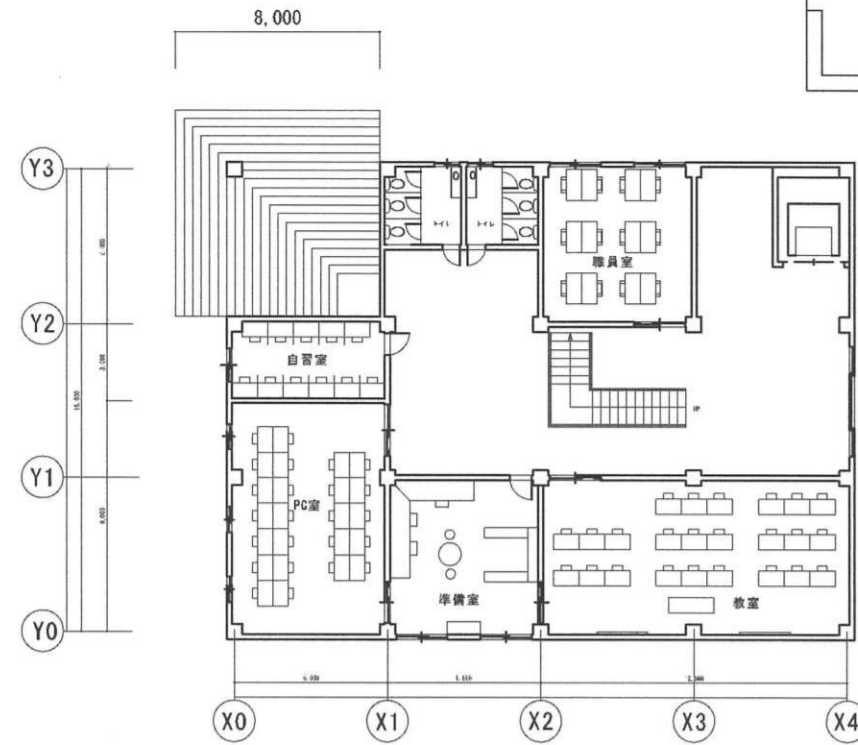
職業訓練校

1階 建築科コース

○建築科で学べること

- ・製図、模型作り、CAD
- ・資格取得のための基礎知識に関する座学
- ・建築について研究する

実際の建築物を見学する機会も設けられており、実践的な技術や感性を身につけることができる。



1階平面図 1/300

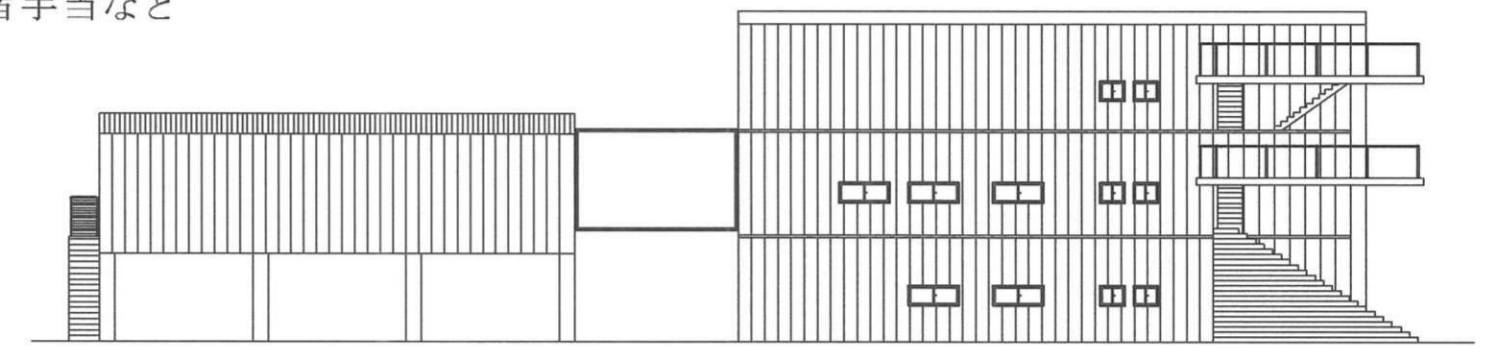
職業訓練校とは...求職中・失業中の人々が再就職するためのさまざまな訓練を無料で提供し、就職のサポートまでを行う公共施設である。

期間: 1年~3年

コース: 建築科コース、調理科コース、プログラミングコース

内容: 高度な技能・技術や企画・開発能力も習得し、リーダーとなる人材を養成。また、地域の実情に応じて、地域産業に必要な多様な技能・知識を持つ労働者を養成。

制度: 受講手当、通所手当、奇宿手当など



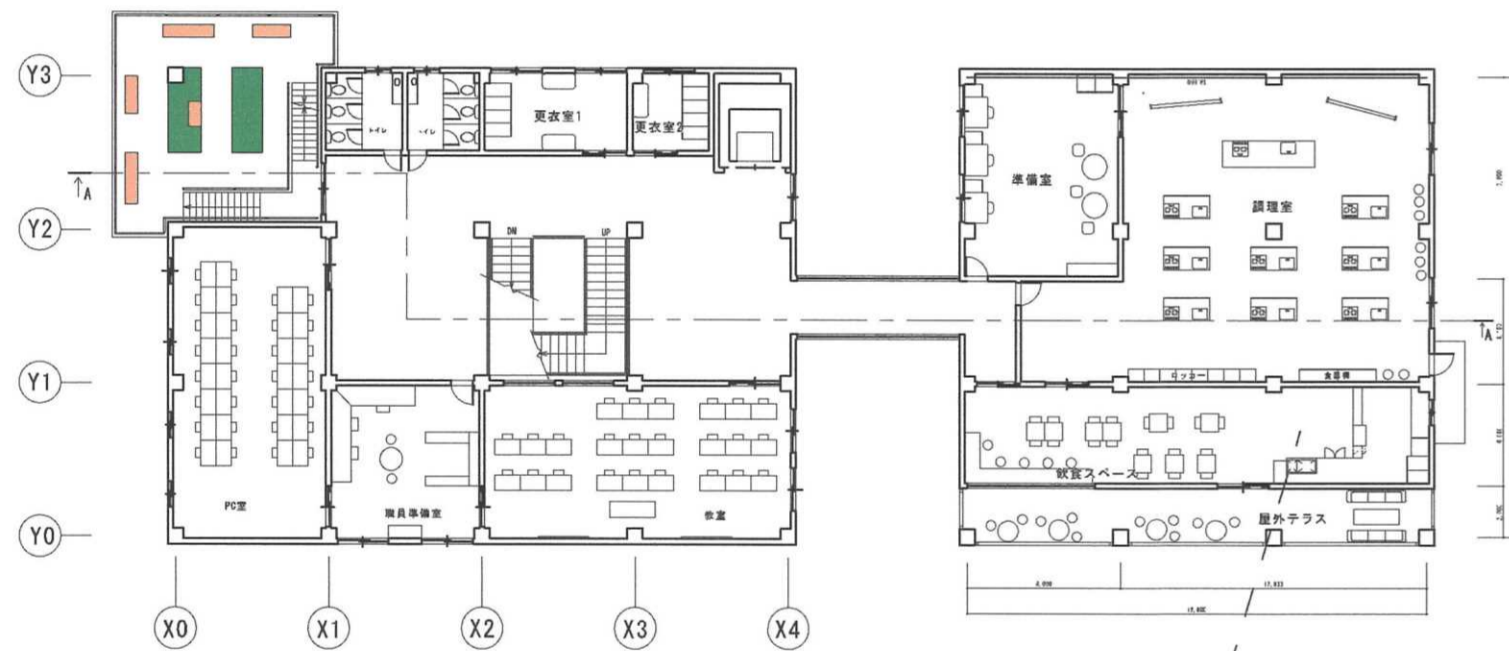
東側立面図 1/300

2階 調理科コース

○調理科で学べること

- ・各種料理の調理方法
- ・調理道具の使用法
- ・食材のつくり方
- ・良い食材を見極めるスキル
- ・商品開発能力

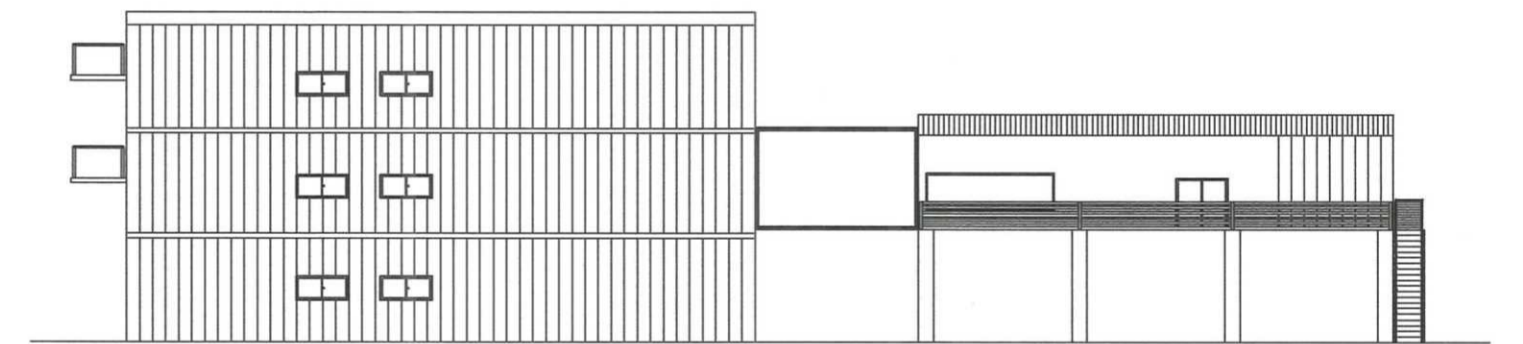
栄養学などの食材についての知識や食品衛生、調理に携わる上で必要な知識を学ぶ。



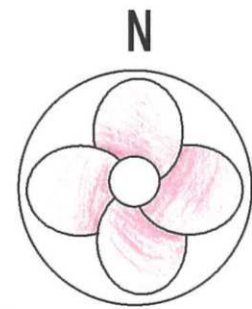
2階平面図 1/300

飲食スペース

施設を利用している人、一般の人誰でも利用できるカフェ調理科コースを選択している人は接客や調理などを行なってもらい実際に仕事を体験することができる。

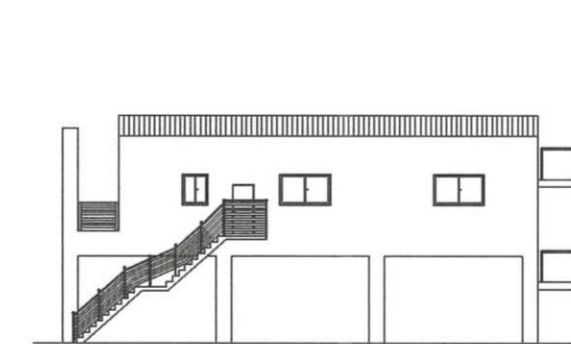


西側立面図 1/300

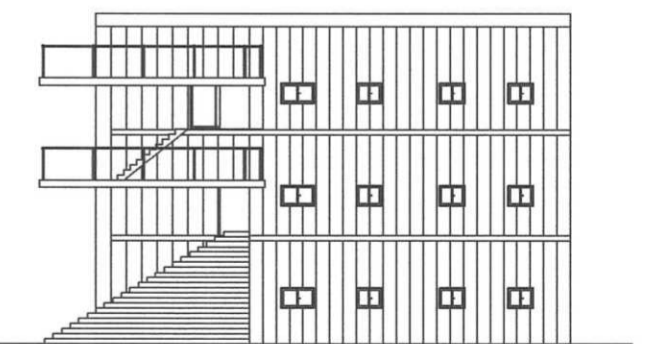


屋外テラス

交流ができる機会であり、コミュニケーションが生まれやすい環境。屋外のスペースは、新鮮な空気を吸うことができ、太陽の光を浴びてリフレッシュできる。



北側立面図 1/300



南側立面図 1/300

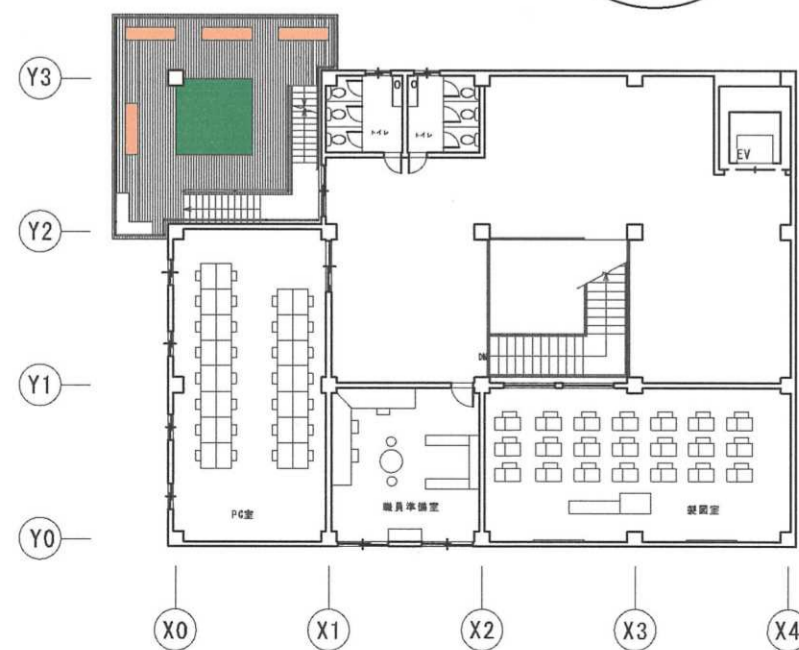
3階 プログラミング科コース

○プログラミングで学べること

メディアアート: プログラミングを使って、音や映像、インタラクティブな作品を作る

人工知能: プログラミングを使って、大量のデータを分析したり、可視化したりする

ソフトウェア工学: プログラミングを使って、高品質で安全なソフトウェアを開発する



3階平面図 1/300



A-A断面図 1/300